

平成 20 年度卒業生アンケート調査報告

調査の目的と方法

自己点検・評価委員会では平成 21 年 3 月の本学卒業生に対し、在学期間中の（１）学修、（２）学生生活、（３）学園の施設・設備、（４）総合評価のそれぞれについて、卒業式の当日にアンケート調査を行った。その集計結果がまとまったので報告する。

このアンケート調査は、平成 14 年度以来継続している卒業生調査の延長線上にあるものであり、前年調査時の質問項目を踏襲した。

調査の概況は（表 1）のとおりである。

（表 1） 調査対象（卒業生）数、回収数、回収率

学 科	卒業生数	回収数			回収率
		記名	無記名	計	
人間社会学科	97	90	0	90	92.8%
マス・コミュニケーション学科	138	130	0	130	94.2%
環境デザイン学科	59	53	1	54	91.5%
経営社会学科	118	106	0	106	89.8%
全学合計	412	379	1	380	92.2%

調査結果

アンケート調査は 4 つの側面に分けられた 32 項目の設問で構成され、各質問項目について 5 つの選択肢から 1 つを選んでもらった。選択肢は次のとおりである。

あてはまると思う・そう思う

ややあてはまる・ややそう思う

どちらとも言えない

ややあてはまらない・ややそう思わない

あてはまらない・そう思わない

（表 2）に調査の集計結果（全学集計）を示した。

(表2) 平成20年度 卒業生アンケート集計結果(全学集計表)

全学集計

設 問	平均	回答件数					
		合計	5	4	3	2	1
1. 学修について							
1 英語の力がついた	2.7	378	17	80	123	83	75
2 海外研修は有意義だった(参加しなかった人は をつけないで下さい)	4.3	225	138	49	13	7	18
3 大学から貸与されたパソコンをよく利用した	4.6	374	287	51	21	5	10
4 ワードやエクセルなどの基本的なソフトの知識が、MOS資格受験程度まで到達した	2.9	377	72	58	89	73	85
5 大学生活で教養が身についた	3.8	376	119	129	92	23	13
6 専門分野についての知識が身についた	3.9	380	115	143	88	27	7
7 卒業後の進路選択のための授業(講座)を増やしてほしかった	3.6	378	82	120	125	28	23
8 有料でも良いので資格取得のための講座を開設してほしかった	3.4	377	82	110	116	33	36
9 設置科目など、カリキュラムは満足できるものであった	3.6	377	67	146	130	26	8
10 シラバスを検討して履修科目を選んだ	3.9	379	147	104	75	32	21
11 履修モデルを参考にして履修科目を選んだ	3.5	378	106	112	82	37	41
12 図書館をよく利用した	4.0	380	158	109	77	21	15
13 高校までの勉強が足りなかった	3.6	379	122	92	99	34	32
2. 学生生活について							
14 在学中は、よく勉強した	3.2	380	40	110	154	51	25
15 在学中は、部活・クラブ中心の生活だった	2.7	380	81	50	59	47	143
16 在学中に多くの本(マンガ以外)を読んだ	3.1	377	70	70	128	62	47
17 大学生活を終えて、自分は成長したと感じた	4.2	379	164	154	47	13	1
18 就職活動を積極的に行った	3.6	378	124	105	70	36	43
19 大学通学のための家族の経済的負担は大きかった	4.0	378	180	92	64	23	19
20 学費をかせぐためのアルバイトが欠かせなかった	3.3	377	106	65	102	49	55
21 通学時間の長さや混雑が負担だった	2.9	376	78	62	84	53	99
22 よい友人ができた	4.5	379	271	54	36	9	9
23 他の学生とのトラブルが多かった	1.8	375	11	19	59	65	221
24 教員とのトラブルが多かった	1.8	378	11	15	71	56	225
25 職員とのトラブルが多かった	1.7	374	9	18	62	53	232
26 江戸川大学の学生のマナーは良いほうである	2.9	379	42	57	140	87	53
3. 施設・設備について							
27 教室などの教育関連施設に満足できた	3.5	379	73	110	139	41	16
28 図書館に満足できた	4.0	379	134	144	77	14	10
29 Web環境に満足できた	4.2	378	170	122	65	15	6
30 体育関連施設に満足できた	4.0	377	162	113	64	23	15
31 食堂に満足できた	3.1	376	73	63	130	44	66
4. 総合評価							
32 江戸川大学に入学してよかった	3.1	378	59	98	101	68	52

5 あてはまる・そう思う 4 ややあてはまる・ややそう思う 3 どちらとも言えない 2 ややあてはまらない・ややそう思わない 1 あてはまらない・そう思わない

調査結果の要点

アンケート調査の集計結果から、次のような特徴を指摘することができる。なお今回の報告では従来別項目としていた時系列比較を以下に組み込んだ。

1. 「学修について」の設問に対する回答

- ・大学から貸与されたパソコンの活用については相変わらず評価が高い。本学における ICT 環境の充実を物語る結果であり、今後とも本学の教育の特色の一端として重視すべきであろう。一昨年・昨年と評価が低かったワードやエクセルなどの基本的な知識が MOS 資格受験程度まで到達したかという設問についても、評価は回復傾向にある。
- ・卒業後の進路選択のための授業開設の要求、資格取得のための授業開設の要求は徐々に低下しつつある。当該講座が充実しつつあることを反映していると判断される。
- ・図書館をよく利用したという評価が、過去 3 年間の平均を 0.2 ポイント上回って 4 点台に到達した。開館時間の延長などの努力が結実しつつあると思われる。

2. 「学生生活について」の設問に対する回答

- ・前回の調査とほぼ同様の回答結果が得られているが、まず特筆すべきは、在学中は部活・クラブ中心の生活だったかという設問への評価が、過去 3 年間の平均を 0.2 ポイント近く上回ったことである。
- ・よい友人ができたと思うかとの設問に肯定的な回答が多い。
- ・以下、学生生活については昨年度とほぼ同様の結果が得られている。

3. 「施設・設備について」の設問に対する回答

- ・図書館・WEB 環境・体育施設についての評価はいずれも 4 点台に達しており、おおむね満足していると見てよい。
- ・特に体育関連施設は、過去 3 年間の平均が 2.8 を下回っていたのが、今回 4 点台に達した。施設の充実を反映するものだろう。
- ・一方、教室などの教育関連施設に満足できたか、という設問には相対的に評価が低い。今後の改善が求められよう。

4. 「総合評価」の設問に対する回答

- ・設問は「江戸川大学に入学してよかったと思うか」の 1 問である。
- ・過去 3 年間、4 点台を維持してきた評価が今回 3.1 に下がった。
- ・上述の、個別の項目についての評価はおおむね現状維持であり、いくつかの項目は過去 3 年間に比べて有意と判断できるほどに評価が上がっている。そして、逆に有意と判断できるほどに評価が下がっているものはない。その中で総合評価だけが得点を下げていることはどのように理解すべきか。

- ・あるいは、個別項目の評価の平均点は過去と変わらずとも、高評価グループと低評価グループに学生が両極分解しており、その結果、総合評価の得点低下につながった可能性を考慮し、個別項目ごとの評価得点の変化をグラフ化して比較してみたが、両極分解の傾向は見られなかった。
- ・現時点においては、得点低下を分析するに足るデータが得られていないと言わざるをえない。
- ・憶測ではなく客観的な分析結果を得るには、少なくとも次年度のアンケート結果を待つ必要があるし、また、アンケートの項目自体を再検討すべき段階に来ているのかもしれない。今後の課題としたい。